

<週報No. 2,977> 3,089 回例会

2022年6月24日(金)

■会長/北川 和彦 ■幹事/飯田 兼光

◆司会=五味武嗣 副SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本日	100.00%	0名欠席
前回訂正	100.00%	0名欠席

◆ラッキーナンバー=No.42 河西正一君

◆ニコニコボックス=●北川和彦君、飯田兼光君=いよいよ本年度最終例会となりました。一年間お世話になりました。●有賀昭彦君、森幸俊君、折井俊美君=北川会長、飯田幹事、役員の方々さま コロナ禍の1年お疲れ様でした。●小口武男君=北川会長、飯田幹事お疲れ様でした。●河西正一君=北川会長、飯田幹事 1年間ありがとうございました。●八幡一成君=例年6月は諏訪湖のテナガエビ漁の時期ですが、今年は資源保護のためエビ漁は禁漁となりました。来年に期待です。●伊藤武利君=北川会長、飯田幹事 1年間ありがとうございました。今夜はごゆっくり、飲みすぎないでネ! ●岩波寿亮君=北川会長、飯田幹事 一年間お疲れ様でした。明日はトライアスロン大会です。準備のため欠席メンバーもいると思います。よろしくお願いたします。●山本實君=今年度の役員の方々さま 1年間ご苦労様でした。●平林正光君、花岡秀則君、吉越潔君、倉谷英行君=北川会長、飯田幹事 1年間大変お疲れ様でした。今年度最後の週報にしっかりと足跡を残させていただきます。●河西正一君=ラッキーNoにあたって。

◆会長告知・北川和彦会長=本日が最後の会長告知です。

明日いよいよ諏訪湖エイトピークスミドルトライアスロン大会が行われます。クラブとしては何もできませんでしたが、小島事務局長以下、会員が役員に多く入っており、クラブとしても応援したいと思います。岡谷市から富士見町までの広大な地域にまたがる催しで、諏訪



は一つ、諏訪湖浄化のメッセージを伝えられればと思います。

今年の第2600地区の地区大会は中止になりましたが、先週日曜日に新旧合同会長・地区チーム会議が、松本のホテルブエナビスタでありました。次期ガバナーは上沢広光さんで更埴RC会員です。大変張り切って過去3年間にできなかったことを一気にやりたいと話されていました。この会議で地区の青少年育成基金の規約が改正されました。1995-96年度から開始された制度で現在2億1,000万円の基金があり、これまで運用益からのみ事業支出をし、年額180万円以内、1クラブ30万円限度、11月申請、3月交付としてきましたが、元金からも事業支出できることになり、年額500万円、1クラブ20万円限度、5月末までに申請、8月末までに交付とされました。ただし次年度のみ9月末までに申請、11月交付とされました。これまで各年度100~200万円が支出され、交換学生の受入助成、スキーの集い助成等に使用されていましたが、他にも子どもたちを巻き込んだ事業への助成も可能となりました。当会はロータリー財団の補助金を使って学校に教育支援をしてきましたが、この制度を使って他の事業も可能です。諏訪実業高校の生徒の実技活動を支援することなども考えてもいいのではと思います。

先週少し触れましたが、RI規定審議会が4月に行われ、人頭分担金を現在一人70ドルのところ、今後4年間で12ドルの増額となりました。ロータリーの未来形成に関して、世界で2地域に限定して試験的プロジェクトを実施します。本日は2回目の役員退任挨拶です。よろしくお願いたします。

◆幹事報告・飯田兼光幹事=いよいよ、本年度最後の例会となりました。本日は先週に引き続き役員退任挨拶です。後ほど順番に指名させていただきますので宜しくお願いします。現在各周年の歩みのCD化を進めておりますが、完成までに今しばらく時間を頂くようになります。本年度内に皆様にお届けすることができませんでした。申し訳ありません。完成次第配布させていただきますのでお願い致します。



私の幹事報告も今回が最後となりました。今は清々し

い気持ちであります。この場をお借りして私の退任挨拶をさせていただきます。通常スタイルで例会や懇親会等が開催出来ず、これほど人と対面で会わなかった月日はありませんでした。人との対話やふれあいが大事であり、親睦がロータリークラブの重要な要素であると再認識しました。通常例会の開催が、平穏に続くことを願っています。十分な仕事ができなかったが、北川会長をはじめ、ご支援頂きました会員の皆さん、事務局の小口さんに心から感謝申し上げ、幹事退任のごあいさつとさせていただきます。1年間お世話になりました。ありがとうございました。

◆委員会報告

●創立 65 周年実行委員会 川村総一郎事務局長＝6月5



日開催の記念式典・祝賀会へのご協力ありがとうございました。おかげをもちまして無事終了することができました。先日、アンケートを配布させていただきました。

70周年に向けた大変重要な資料になると思いますので、ぜひご回答のほど、よろしく願いいたします。

◆米山功労者表彰

飯田兼光会員（1回）、小口武男会員（11回）、折井俊美会員（8回）、川村総一郎会員（1回）、五味武嗣会員（1回）、八幡一成会員（3回）（本日の出席者のみ）

◆退任役員挨拶

●米山奨学会委員会 小口武男委員長＝本年は65周年ということもあり先ほど表彰がありました。未定の方も含めまして10人から寄付をいただきました。これからもご協力をお願いしたいと思います。Zoom例会を10月1日に開催し、米山奨学会の紹介をいたしました。来年も私の担当になりますが、ぜひ奨学生を連れてきて、いろいろな話をいただければなと思っています。

●ロータリー財団委員会 河西正一委員長＝11月5日にロータリー財団について皆さんに発表をさせていただきました。また、65周年で地区補助金に関する活動をさせていただきました。来年も居残りです。ロータリー財団委員長をやらせていただきます。

●職業分類委員会 有賀昭彦委員長＝コロナ禍の大変厳しい環境の中で職業分類を進めさせていただきました。

ご存知の通り職業分類は、ロータリーの宝でございます。異業種の集まりでありますので、いろいろな方と接し自分に一つでもプラスになる集まりです。これからも業種のことを考えて、会員増強や会員選考を含めましてやっていただければいいのかなと思っています。会長・幹事が余裕を持って分類の方に回していただき、スムーズに進行することができました。改めてお礼を申し上げます。

●プログラム委員会 小平直史委員長＝当初の計画で5名の新入会員の方に新入会卓話をお願いしましたが、例会の延期や休会で日程が変わり、予定通りにできた方は1人もいませんでした。特に新入会の皆さんには無理を言ってお願いしてご迷惑をおかけしたかなと思っています。1年間本当に皆さんにお世話になりありがとうございました。

●五味武嗣 副 SAA＝橋詰会員の異動で、急遽リリーフということでやらせていただきました。今日は玉本 SAA がいないので代わりに皆様にお礼を申し上げたいと思います。Zoom 例会などいろいろと状況の変化が多かったのですが、スムーズな例会運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

●川村総一郎 副幹事＝副幹事の仕事としては1年間、幹事の背中を見ながらの準備期間ということで承っていましたが、飯田幹事の素晴らしい采配を見て自信がなくなりかけたところ、65周年実行委員Ⓔ氏事務局長のご指名いただき1年が過ぎてしまいました。来年度からは幹事ということで頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

●北川和彦会長＝皆様のご協力を得て、なんとか全うできてほっとしています。飯田幹事に多いに助けられました。今年度は計画した行事の変更が多かったのですが、私がかうまく日程の管理できずにいましたところを、飯田幹事がきちんと進めてくれて安心して任せることができました。今年度は、「コロナ禍を克服しロータリーを楽しもう。」を主なテーマに、サブテーマを「創立 65 周年を迎え、当初の熱気と奉仕への意欲を思いおこそう。」としました。1年半コロナで苦しんできたのでそろそろと思い、ロータリーを楽しもうをテーマにしましたが、例会は5回休会しました。

新規にデジタル化推進委員会を立ち上げ、八幡委員長を中心に小口武男会員などのご尽力によってリモート例会ができるようになって11回行いました。それはそれで

良かったですが、やはりリアルでないと交流が深まらないと感じました。リアル例会は19回でした。その中でも、美食会、年末の家族例会、65周年記念事業をリアルでできたことは良かったと思います。ロータリーを楽しむことは、次年度に期待したいと思います。

創立65周年事業は、古屋実行委員長を中心に立派にできました。上諏訪小中学校へのプロジェクターなどの寄贈では小島会員のトライアスロンの話が子どもたちに刺激を与えたと思います。亡岩波寿会員の沖縄戦の体験をベースにした特別例会は、三上智恵さんにきていただいただけオンラインになってしまったのは残念ですが、戦争の実態がとてもよくわかり、平和を現実的に考えるきっかけとなり、ロシアのウクライナ侵攻もあって時季にあった企画だったと思います。記念誌は、家族写真は富士見の川合弘人会長からほめられました。長野日報の元記者です。

1年間会長をさせていただき、我がクラブは大変難しい時期にあると感じました。記念式典でも言いましたが、創立時のメンバーと面識を得た世代がおられる一方で、40～50代の会員が増えていますが、この間の引き継ぎが十分にできていないと感じます。今年度、理事に若い会員を選任させていただきましたが、少しでもクラブの活動に参加してもらいたい思いからでした。思い出懇談会で、森会員は、以前は諏訪地方の問題を並べ、何を取り上げるべきか考えて奉仕活動をしてきたと話され、有賀会員は、引き継ぎが形骸化している、クラブのあり方、奉仕活動のあり方を歴代で引き継ぐ必要があると話されていました。私が入会年度では、中間だと思いましたが、私はロータリーのことあまりわかりませんでした。ロータリーはまず自分の会社をよくする、その上で他業種と交流する、漱石が諏訪にきて講演をして、社会が分業化すればするほど、他業種との交流が必要だと言った話しをさせていただきましたが、その交流が大事で、その上で社会の要求するものを奉仕していくことかと思えます。そのためにはまずもって交流する。泊まりがけのリアル会議も良いかと思えます。先輩会員もこれなら大丈夫だと思うまで引っ張っていただきたいと思います。対外的奉仕活動も、今年度諏訪湖清掃をし、次年度も計画されているようですが、もっと対外的奉仕活動をすべきだと感じました。何をすべきかを中堅若手会員を中心に考えましょう。次年度に期待します。1年ありがとうございました。



**1年間 お世話になりました
事務局・小口史子さんにお礼**

◆今後の例会日程

7月 1日	金	クラブ協議会	新年度方針・挨拶
7月 8日	金	クラブ協議会	新年度方針・挨拶
7月 15日	金	クラブ協議会	出席率向上・表彰